

にらさき

| | |
|---------------|----------|
| 議長・副議長就任あいさつ | …… P1 |
| 新議員誕生 | …………… P2 |
| 第2回臨時会・第3回定例会 | … P4 |
| ここが聞きたい（一般質問） | … P7 |
| 12月定例会日程（予定） | …… P12 |



韮崎市子育て支援センター

就任あいさつ



議長
野口 紘明 議員



副議長
森本由美子 議員

このたび、10月14日の臨時会において、議員各位のご推挙により、栄誉ある韮崎市議会第61代議長及び第60代副議長に就任いたしました。

この職の重要性を十分認識し、市民の皆様の負託に応えるべく努めさせていただき所存であります。

本年3月に発生した東日本大震災に続き和歌山及び奈良を襲った大雨災害、タイにおける大洪水、さらにはトルコにおける大地震と本年は大きな災害が立て続けに発生しました。

特に東日本大震災と円高により地方行政をとりまく財政環境はこれまで以上に厳しい状況になると予想されます。そのような中においても市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりのため誠心誠意努めてまいるとともに、議会改革をすすめる議会基本条例制定に向けて努力する所存であります。

市民の皆様方の厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。


新議員18名が誕生!!

任期満了に伴い、9月25日に告示された「韮崎市議会議員一般選挙」では、定員18名に対し21名の届出があり、10月2日に投開票され、市民の代表として以下の議員が当選しました。

なお、条例改正により議員定数は今回の選挙より20名から18名に減りました。

【議員任期】平成23年10月10日～平成27年10月9日

①氏名 ②年齢 ③党派 ④地区 ⑤職業 ⑥当選回数 ※年齢は選挙時



① 高添 秀明
② 62歳
③ 無所属
④ 中田町
⑤ 農業
⑥ 1回



① 宮川 文憲
② 61歳
③ 無所属
④ 穂坂町
⑤ 農業
⑥ 1回



① 守屋 久
② 49歳
③ 無所属
④ 穴山町
⑤ 農業
⑥ 1回



① 西野 賢一
② 51歳
③ 無所属
④ 若宮三丁目
⑤ 小売業
⑥ 2回



① 田原 一孝
② 64歳
③ 無所属
④ 龍岡町
⑤ 農業
⑥ 2回



① 清水 康雄
② 62歳
③ 無所属
④ 旭町
⑤ 農業
⑥ 1回

| | | | |
|--|---------------|----------------|--|
| 市民課、 福祉課、 保健課、 静心寮及 び市立病院の 所管する事項 | 委員 長 西野 賢一 | 副委員 長 高添 秀明 | 委員 員 神田 明弘 一木 長博 森本由美子 奥石 賢一 |
|--|---------------|----------------|--|

市民生活常任委員会

| | | | |
|---|---------------|----------------|--|
| 政策秘書課、 総務課、 企画 財政課、 会計課、 議会事務局 局及び教育委員 会の所管する 事項並びに他 の委員会に 属さない事項 | 委員 長 岩下 良一 | 副委員 長 小林 伸吉 | 委員 員 小林恵理子 野口 紘明 清水 康雄 宮川 文憲 |
|---|---------------|----------------|--|

総務教育常任委員会

| | | | |
|----------------------------|--------------|----------------|---|
| 議会運営及び 議長との諮問に 関する事項 | 委員 長 清水 一 | 副委員 長 藤嶋 英毅 | 委員 員 神田 明弘 清水 正雄 一木 長博 小林 伸吉 高添 秀明 |
|----------------------------|--------------|----------------|---|

議会運営委員会

| | | | |
|---|--------------|----------------|--|
| 農林課、 企業立地課、 商工 観光課、 建設課及び 上下水道課の 所管する事項 | 委員 長 秋山 泉 | 副委員 長 田原 一孝 | 委員 員 清水 一 清水 正雄 藤嶋 英毅 守屋 久 |
|---|--------------|----------------|--|

産業建設常任委員会

常任委員会等委員構成

平成23年10月14日就任

| | | |
|---|--|--|
|  <p>① 秋山 泉 ② 68歳 ③ 無所属 ④ 中央町 ⑤ 自営業 ⑥ 2回</p> |  <p>① 輿石 賢一 ② 67歳 ③ 無所属 ④ 龍岡町 ⑤ 会社員 ⑥ 2回</p> |  <p>① 小林 伸吉 ② 56歳 ③ 公明党 ④ 藤井町 ⑤ 政党役員 ⑥ 2回</p> |
|  <p>① 野口 紘明 ② 69歳 ③ 無所属 ④ 龍岡町 ⑤ 会社役員 ⑥ 3回</p> |  <p>① 森本由美子 ② 49歳 ③ 公明党 ④ 円野町 ⑤ 政党役員 ⑥ 3回</p> |  <p>① 岩下 良一 ② 72歳 ③ 無所属 ④ 本町二丁目 ⑤ 会社顧問 ⑥ 2回</p> |
|  <p>① 清水 正雄 ② 70歳 ③ 無所属 ④ 富士見一丁目 ⑤ 会社役員 ⑥ 5回</p> |  <p>① 一木 長博 ② 63歳 ③ 無所属 ④ 円野町 ⑤ 自営業 ⑥ 4回</p> |  <p>① 藤嶋 英毅 ② 74歳 ③ 無所属 ④ 清哲町 ⑤ 農業 ⑥ 3回</p> |
|  <p>① 神田 明弘 ② 65歳 ③ 日本共産党 ④ 下祖母石 ⑤ 政党役員 ⑥ 8回</p> |  <p>① 清水 一 ② 65歳 ③ 無所属 ④ 本町一丁目 ⑤ 旅館業 ⑥ 6回</p> |  <p>① 小林恵理子 ② 56歳 ③ 日本共産党 ④ 中田町 ⑤ 政党役員 ⑥ 5回</p> |

○ **〔共伸クラブ〕**
 清 輿 秋 清 岩
 水 石 山 水 下
 康 賢 正 良
 雄 一 泉 雄 一

○ **〔葦政クラブ〕**
 守 宮 高 田 西 野 清 一
 屋 川 添 原 野 口 水 木
 文 秀 一 賢 紘 長
 久 憲 明 孝 一 明 一 博

※ ○ は会長

○ **〔経世クラブ〕**
 藤 嶋 英 毅

○ **〔公明党〕**
 森 本 由 美 子
 小 林 伸 吉

○ **〔日本共産党 葦崎市議団〕**
 小 林 恵 理 子
 神 田 明 弘

葦崎市議会 会派所属議員名簿

| | |
|-------------|-------|
| 予算、決算に関する事項 | |
| 財務常任委員会 | |
| 委員 長 | 清水 正雄 |
| 副委員長 | 輿石 賢一 |
| 委員 | 秋山 泉 |
| " | 岩下 良一 |
| " | 藤嶋 英毅 |
| " | 小林恵理子 |
| " | 清水 一 |
| " | 神田 明弘 |
| 委員 | 小林 伸吉 |
| " | 西野 賢一 |
| " | 田原 一孝 |
| " | 清水 康雄 |
| " | 高添 秀明 |
| " | 宮川 文憲 |
| " | 守屋 久 |

第2回 (10月) 臨時会

改選後の初議会となる臨時会が10月12日召集され、地方自治法の規定により、藤嶋英毅議員が臨時議長となり、14日までの会期3日間で審議がおこなわれました。

提出された案件は9件で、まず正副議長選が行われ、議長に野口紘明議員、副議長に森本由美子議員が当選しました。人事案件等については次のとおり決定しました。

【人事】

◆常任委員会委員並びに議会運営委員会委員の選任

2・3頁のとおり選任されました。

◆葦崎市監査委員の選任について

市議会議員の任期満了に伴い欠員となっていた議会選出の委員を選出するため、市長より議会の同意を求める提案がされ、満場一致で一木長博議員の再任が決定しました。

◆葦崎市教育委員会委員の任命について

葦崎市教育委員会委員の馬場賢一氏の任期が平成23年10月28日満了となり、また榊形昭平氏が辞任したため、後任者の選任について、市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を選任することに同意しました。

清水めい子（富士見二丁目）

清水 亘（大草町）

【選挙】

◆葦崎市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

葦崎市選挙管理委員会委員及び同補充員の任期が平成23年10月31日満了となるため、地方自治法の規定により、議会において選挙を行った結果、次の各氏が議長推選により当選しました。

【委員】

中澤 定茂（穂坂町） 根岸 正己（大草町）

岩下 正紀（本町四丁目） 内藤 純枝（円野町）

【補充員】（順位順）

保坂 孝夫（本町二丁目） 内藤 充（神山町）

角井 節子（本町三丁目） 守屋 喜彦（藤井町）

なお、当選証書の付与式が10月26日葦崎市議会議長室で行われ、野口紘明議長より当選証書が付与されました。

また、後日開催された選挙管理委員会において、委

員長に中澤定茂氏、委員長職務代理者に根岸正己氏が選任されました。

◆事務組合・企業団・広域連合議員選出について

市議会議員の任期満了に伴い欠員となっていた広域議員等の選出については、それぞれ議長の指名推選により、満場一致で次のとおり当選が決定しました。

【峡北広域行政事務組合】

宮川 文憲 議員 田原 一孝 議員

西野 賢一 議員 輿石 賢一 議員

一木 長博 議員 清水 正雄 議員

【峡北地域広域水道企業団】

高添 秀明 議員 小林 伸吉 議員

秋山 泉 議員 森本由美子 議員

【山梨県後期高齢者医療広域連合】

西野 賢一 議員

第3回 定例会

平成23年第3回葦崎市議会定例会は、9月1日に招集され、会期を9月20日までの20日間と定め審議を行いました。

今議会で審議された案件は、条例の改正や補正予算など35案件を審議し、議員提案の条例案1件が否決されましたが、他は原案のとおり可決・承認・同意等されました。

【補正予算】

一般会計補正予算（第2号）、下水道事業特別会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第1号）及び病院事業会計補正予算（第1号）が、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

主な内容は次のとおりです。

◆平成23年度一般会計補正予算（第2号）

補正予算額 3億3,490万2千円

◇主なもの（歳出）

- 歳計剰余金を財政調整基金積立
2億3,990万5千円
- 市所有の特殊建築物定期報告検査等
581万2千円
- 重度視覚障がい者動向援護費等 115万5千円
- 児童センターへのAED設置経費等
132万3千円
- 子育て支援センターオープニングイベント等
292万6千円
- 市営火葬場修繕費 194万3千円
- 高齢者実態調査の継続による緊急雇用対策事業
170万円
- 小土地改良事業の農道等整備工事費等
597万5千円

- 薬師小屋環境型トイレ整備に伴う補助金等
100万円
- のれんのあるまちづくり事業パンフレット作成費等
131万3千円
- 台風の影響による農道、水路並びに林道復旧費等
1,452万1千円

◆下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正予算額 568万8千円
（職員給与費並びに消費税の確定に伴う補正）

◆介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正予算額 △15万9千円
（特定高齢者把握事業並びに職員給与費減額）

◆病院事業会計補正予算（第1号）

補正予算額 6,104万3千円
（医療機器の購入並びに診療棟3階改修費等）

【人事案件】

以下の各人事案件について推薦、選任しました。

◆葦崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について

葦崎市固定資産評価審査委員会委員の任期が平成23年9月24日満了となるため、市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を再任することに同意しました。

山本 武（旭町）

◆葦崎市公平委員会委員の選任について

葦崎市公平委員会委員の田原格氏の任期が平成23年9月17日満了となり、後任者の選任について、市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を選任することに同意しました。

浅川 力（龍岡町）

◆牛ヶ馬場恩賜県有財産保護組合議員の選任について

牛ヶ馬場恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成23年9月30日満了となるため、選挙をおこないました。

| | |
|------------|------------|
| 曾雌 源治（穂坂町） | 曾雌 孝義（穂坂町） |
| 大柴 武士（穂坂町） | 大柴 武光（穂坂町） |
| 長田 力（藤井町） | 石井 規友（藤井町） |
| 穂阪 敏（藤井町） | 保坂 辰彦（藤井町） |
| 小澤 平（藤井町） | 望月 至（藤井町） |

【その他の案件】

◆大型スクールバス車両購入契約の締結について

既存車両の老朽化にともなう購入契約を締結するため議決しました。

- 件名 大型スクールバス車両購入（2台）
- 契約金額 23,839,057円
- 納品場所 葦崎北西小学校
- 契約の相手方 山梨いすゞ自動車株式会社

◆葦崎市勤労青年センターグラウンド改修工事請負契約の締結について

施設の工事請負契約を締結するため議決しました。

- 件名 葦崎市勤労青年センター
グラウンド改修工事
- 契約金額 189,000,000円

- 工事場所 葦崎市穂坂町宮久保
- 契約の相手方 富士島建設株式会社

◆葦崎市住宅リフォーム助成条例について

神田明弘議員の提案により葦崎市住宅リフォーム助成条例が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆葦崎市議会議場における国旗の掲揚に関する決議について

望月正澄議員の提案により葦崎市議会議場における国旗の掲揚に関する決議が提出され、賛成多数で可決されました。よって12月定例会より議場に国旗が掲揚されます。

一般会計(歳出総額)142億4千939万3千円など 平成22年度決算を認定

平成23年第3回定例会では、平成22年度の一般会計、特別会計（14会計）及び企業会計（2会計）決算について、財務常任委員会（望月正澄委員長）に付託審議のうえ本会議で認定しました。決算額は以下のとおりです。

【平成22年度決算額】

(単位：千円)

| | | 歳入 | 歳出 | |
|------|----------|------------|------------|-----------|
| 一般会計 | | 14,798,135 | 14,249,393 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 3,046,107 | 2,953,493 | |
| | 後期高齢者医療 | 237,542 | 237,122 | |
| | 老人保健 | 878 | 878 | |
| | 簡易水道 | 9,632 | 9,632 | |
| | 下水道事業 | 1,129,984 | 1,129,984 | |
| | 介護保険 | 1,797,058 | 1,793,144 | |
| | 介護サービス事業 | 10,172 | 10,172 | |
| | 財産区 | 1,609 | 1,210 | |
| 企業会計 | 市立病院 | 収益的 | 2,309,693 | 2,257,730 |
| | | 資本的 | 100,597 | 224,402 |
| | 水道事業 | 収益的 | 831,532 | 822,879 |
| | | 資本的 | 140,756 | 344,532 |

【22年度決算に伴う財務指標の報告】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行にともしない、財政指標を議会に報告し、公表しなければならないこととされています。

《健全化判断基準》

() 内は財政健全化計画等を策定しなければならない基準

- 実質赤字比率 黒字のため数値なし (13.73%)
- 連結実質赤字比率 黒字のため数値なし (18.73%)
- 実質公債費比率 13.6% (25.0%)
- 将来負担比率 74.6% (350.0%)

⇒ 実質公債費比率、将来負担比率とも、平成21年度決算より改善されました。

《資金不足比率》

- 簡易水道・下水道事業特別会計、病院・水道事業会計 資金不足を生じていないため数値なし (20.0%)

⇒ いずれの比率も基準を下回っており、健全な財政運用がなされています。

※決算額の詳細は、広報11月号をご覧ください。

財務常任委員会での質疑(抜粋)

〔一般会計〕

■総務費

問 庁舎太陽光発電電推進事業3700万円は補助事業だと思っがどのようになっているか。電気料等節減効果は。

答 県の補助金額は3200万円です。発電量は3月から7月の月平均で3920kw/hで約9%の庁舎使用量が削減された。

問 市民バス路線の利用者は前年度に比べてどうか。

答 市民バスの平成22年度利用者は46、442人、平成21年度利用者42、494人で9.4%の増です。

問 外部評価委員を平成21年度から委嘱しているがどのような方が

答 昨年4名で、大学教授、会計事務所の方、弁護士、市民代表の方でした。

■民生費

問 ことぶき長寿記念事業が減ってきている。周知が不足である。

答 再度検討した結果であり理解してほしい。周知は広報等でおこなった。

■衛生費

問 井戸水の水質検査の場所はどのように選んでいるか。

答 現在井戸を利用している方の中から市内全域で依頼している。

■農林費

問 市民農園の使用料収入は26万円、費用は63万円で差額は市の持ち出しとなる。今の農地があまっているなかで、遊休農地をあっせんする方向にもっていつてはどうか。

答 耕作困難な状況は承知している。遊休農地解消の中で、非農家へ身近な面積を提供し、将来的にはある程

度の面積の耕作を斡旋したい。

■歳入について

問 雑入の中に、返還金2億9千2百万円という大金があるが内訳は。

答 広域行政事務組合のふるさと市町村圏基金としてあったものを返還したものである。

問 同じく雑入に職員給食費620万円とあるのは何か。

答 市内保育園の保育士が食べる給食代(自己負担)です。

〔下水道事業特別会計〕

問 下水道の整備面積は1,241haとあるが計画に入らない面積はどれくらいか、また人口はどれくらいか。

答 区域外の人口は5,222人、面積は約222haです。

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で確認することができます。録画中継も配信しています。

旧葦崎射撃場の鉛 問題について

問議員 県が、旧県立葦崎射撃場で行ってきた鉛汚染調査で環境基準を上回る鉛が検出されました。地域住民からは「嚴重なチエック対応を取ってもらいたい」、「大量の鉛が放置されていることによる健康面への影響が不安」との要望がでています。葦崎市は、この調査結果と今後の対応についてどのように考えているのか。

答教育委員長 現在、県が実施している地下水の水質検査では、基準を超える鉛は検出されておらず、安全であることが確認されています。県は、健康被害を防止する対策を講じていくこととして、当面、区域内への立ち入り禁止の強化及び地下水の観測井戸を2から9箇所を増や

し、地下水汚染が生じないかを確認していくというところであります。

県は、今後、掘削除去の方法も検討していく、とのことですが、さまざまな規制があることから、環境省など関係機関とも協議した中で、適切な対策方法を検討していくこととしております。

市は、この調査結果を重く受けとめ、最善の対策方法を探るよう要望し、今後の対応を注視してまいります。

住宅リフォーム助成制度の早期実現について

問議員 住宅リフォーム助成制度については、23年3月議会では、請願が採択されました。また、市民からも実現を望む声が聞かれております。葦崎市でも早期実施に踏み切るべきだと思います。市長の所見を伺います。

答市長 先の議会で請願が採択されたことを重く受け止め、明年度、実施に向けて検討しているところであります。

TPP参加反対の 意思表示について

問議員 TPP参加は、農業だけでなく、アメリカ政府の要望に見られるように、食品・労働者の賃金・医療など日本人の生活のあらゆる面に影響を及ぼすものです。市長はTPP傘下に反対の意思表示をすべきと思うが、

答市長 現状を冷静に見極め、自国の利益をしっかり判断し、結論をだすべきでありますので、引き続き十分な論議を重ねる必要があると考えております。



藤嶋 英毅 議員
【葦政クラブ】

その他質問

- ◆穂坂町三之蔵・日之城地区デマンドバス運行状況について
- ◆国民年金の納付率について
- ◆サル・シカ・イノシシによる食害対策について
- ◆青木・中谷地区内県道への追い越し禁止車線の設置について



秋山 泉 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆甘利山・鳳凰山トレイルランについて
- ◆鹿害対策について
- ◆特産品の開発について
- ◆葦崎市民交流センター“ニコリ”について
- ◆大気汚染について

観光行政について

園議員 甘利山グリーンロッジは山小屋と言えませんが、山小屋としての使命は非常に多岐にわたります。大自然の中の憩いの場であり、自然観察など学研の場、また緊急避難の場、保護施設、宿泊など、さまざまな能力を求められる甘利山の顔です。管理人はロッジの顔、多岐にわたる手腕を求められます。このような観点からシーズン経過後のロッジの利用状況、収支、管理人の待遇規定等質問します。

園市長 前年度利用者数は700人で95万円の収入に対し260万円の支出でした。本年もほぼ同水準で推移しています。管理人の給与等待遇の規定は、非常勤嘱託取扱規定に準拠しています。

商店街の活性化について

園議員 武田の里ウォークは、ややマンネリ化のきざしがあり、深夜の国道歩行は非常に危険を伴い、実施も厳しい状況下であり、見直しの考えは。

園教育長 武田の里ウォークは、今後も安全に配慮しつつ、参加者の方々の御意見を聴取しながらよりよい内容にしたいと考えています。

園議員 イベント主導による商店街活性化はいずれも実現していません。活性化の意義、目標の明確化と全員での共有。各事業実施には、その事業が本当に町の自店の活性化の実現に連結するか、しっかりと確認しなくてはなりません。商工会の講演に「みえる化」を提唱していますが、市で薦めている「のれんのある町

づくり」との整合性はいかがですか。

シャッター街が拡大傾向の中、路面の一個店が必至で自助努力してもどうにもならない状況下にいま行政主導が明確に打ち出されています。二重三重の施策実施によって町の、商店街の活性化の兆しが見えてくるようになります。ふれあい商品券の継続はどうでしょうか。

園市長 のれんのあるまちづくり推進事業に関しては、計画当初から「見える化」に取り組み個店経営者にも入っていただきワーキンググループで十分協議を重ねてきたものです。

プレミアム商品券は、3年間続け、いずれも完売と好評いただいております。明年度以降の実施については、実施主体の商工会と協議します。

獣害防止対策について

園議員 獣害防止対策は一般質問の機会あるたびにお聞きしていますが、市からの原材料支給等でつくった防護さくが猿に効いたのは本当に短い期間でした。今では年間を通じ毎日のようにその地区は猿との戦いです。

国で定めた鳥獣害の新たな法では、市は基本指針により即座に被害防止計画を定め、県にかわり鳥獣の捕獲、許可権限を行使できるとしております。県下関係市町村の防止計画はどうなっているか、また許可権限の内容を伺います。

次に、本年度鳥獣害防止対策リーダー育成事業として、その対策を集落ぐるみで取り組むとの文書が来て、中心となる人物を選定してほしいと地区の代表にきています。しかし、現実に毎日鳥獣

に苦戦している地区民は机上の空論との話も出ています。内容を聞きたいと思えます。

園市長 鳥獣被害防止計画の策定は、県下26市町村それぞれが策定しております。捕獲の許可権限は県が定める鳥獣捕獲事業計画と整合性を図る中、県の同意を条件として市町村においても捕獲を許可できる規定となっております。

鳥獣害防止対策集落リーダー育成事業は、各地区のご理解をいただく中、予定人員を上回る17名の積極的な参加申し込みをいただいております。鳥獣害対策につながる事業として期待できると考えております。

苗敷山穂見神社奥宮本殿までの参道（登山）整備について

園議員 苗敷山山頂にある穂見神社奥宮は、昨年の市の補助でトタン屋根から銅板に吹き替えたとことです。標高約千mにあること、珍しさから大勢の見学者や参拝者が訪れるようになり地元として嬉しい限りです。

しかし、竹ノ内地区の里宮からの参道は荒廃し徒歩での参拝、見学は非常に困難です。

当然地元でも負担するつもりですが、この道について補修等の考えがあるか伺います。

園教育長 市指定文化財である苗敷山穂見神社奥宮本殿については、地元の方々による建物の維持補修に要する経費に対して補助してきたところで、奥宮までの参道については指定文化財となっておりますので、文化財の補助対象とはならないものです。一般的に神社は氏子の方々や地域の皆様によって守られ、維持管理が行われてきたものであり、参道の整備も同様におこなっていただきたい。



山本 雄次 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆地域医療の充実と緊急医療について



神田 明弘 議員
【日本共産党菰崎市議団】

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆国道20号線一ツ谷、祖母石地区の交通安全対策について
- ◆菰崎工業高校横の水路の安全対策について

防災マップの改善を

議員 6月議会で、私は市の防災マップを細分化して、自治会単位、地域単位でつくることを求めました。

甲府市では、かねてから自治会単位のマップづくりにとりこんでいます。甲府市は「これを作成する過程で、地域住民の皆さん自身が地域の現状について改めて理解を高めたり、災害に対し、結束していただくことが重要なメリット」になっています。こうした例を参考にしながら、防災マップの改善に取り組むべきです。

市長 今後地域防災計画の見直しや土砂災害マップの作成とあわせ、必要に応じ対応します。

国保税の引き下げを

議員 私どもの「まちづくりアンケート」には、重い負担に苦しむ切実な市民の声が寄せられています。「いまの給料で生活めいっばいです。家族4人、主人の他に収入は何もなく、こんなに取られては生活できない」などです。

こうした市民の重税感がとりわけ国保税にむけられています。菰崎市の国保加入者の所得に対する国保税の割合が高く、県内の自治体のなかでは上位で、2008年は12%、2009年は16%にもなっています。

所得の1割以上が、国保税のみで負担させられる税金を加えれば、国保の加入者は所得の2割から3割税負担を強いられています。国保税を引き下げるべきです。

経営指導員の継続配置を

市長 現下においての引き下げは大変厳しい。

議員 「商工会やまなし」、いきいきマガジン「E.G.A.O」などに最近市内の商店街の活性化のための努力が紹介されています。こうした成果は、関係者の努力によるものですが、市が援助して商工会に配置されている2人の経営指導員も重要な役割を果たしています。

この指導員の雇用は、今年度で切れますが引き続き援助して継続すべきです。

市長 明年度以降の体制について新たに検討します。

すべての保育室にエアコン設置を

議員 菰崎市では、市内9ヶ所の保育園に700人近い園児が生活しています。近年の厳しい暑さに対する対策が求められています。

乳児室にはエアコン設置を進めています。他の年齢で、未設置の部屋が25室残されています。体温調節機能もまだ未発達なのが乳幼児であり、暑さ対策で最優先すべき場所です。すべての年齢の保育室にエアコンを設置すべきです。

市長 今後計画的に順次、設置していきます。

他の自治体に学ぶ放射線測定を

議員 福島原発の事故による放射線被害は、収束の見通しがたらず、不安が広がっています。子

育て中の方から、対策を強めてほしいという声も上がっています。

独自で実施する市町村が増えつつあります。甲斐市では、公共施設52ヶ所、大月でも学校、保育園、児童センターなどを測定し、これらを公表しています。こうした自治体に学び、市の責任で測定・公表し市民の不安を払拭していくべきです。

市長 現状では市独自の測定は考えていません。

議員 11月から甲府市でも始めるといふことです。実施自治体もさらに増えると思いますが、再度検討すべきです。

市長 考えてみたいと思います。

合併浄化槽の積極的推進を

議員 菰崎市の合併浄化槽への補助限度額は、5人槽33万2000円、7人槽41万4000円です。

しかし甲斐市では、特別会計を組み、設置費用の1割負担で済むよう支援しています。さらにその後の維持管理についても市が行っています。このような市町村設置型制度や、補助限度額・率の引き上げ、処理水の放流先の確保など行って積極的に推進していくべきです。

市長 補助金は現行通り。処理水の放流先は、調査し検討します。市町村設置型の整備は今後研究していきます。



小林恵理子 議員
【日本共産党菰崎市議団】

その他質問

- ◆介護保険制度の見直しについて
- ◆成年後見人制度について
- ◆救急医療の充実について
- ◆市道(穴山)5号線の整備について



森本由美子 議員
【公明党】

その他質問

- ◆ 葦崎市立病院への婦人科の設置について
- ◆ 検診会場での託児について
- ◆ 障がい者の就労支援について

女性特有のがん検診を受けやすい環境づくりについて

副議員 葦崎市立病院において一度で総合検診、婦人科検診が受診できるように、検診日のみ女性婦人科医師による検診体制により検診率アップにつながるのではないかと。

副市長 婦人科医師の確保が見込めない状況。

副議員 国立がん研究センターの資料によると、乳がんの罹患率が35歳から急激に増加しています。マンモグラフィによる検診を30代後半から受けられるようにし、早期発見・早期治療に取り組む考えは。

副市長 市の対象者は40歳以上としているが、40歳以下であっても医師の判断で検診が可能となっている。

その他質問

- ◆ 葦崎市立病院への婦人科の設置について
- ◆ 検診会場での託児について
- ◆ 障がい者の就労支援について

副議員 触診ではわからない微細な石灰化をみつけることができるマンモグラフィを40歳以下でも受診が必要であると思うが。

副保健課長 一部においては実施を始めているところもある。医師会、検診医療機関とも検討する。

人間ドックの助成費の拡大について

副議員 がん検診率アップと、早期発見・早期治療で医療費の抑制にもつなげるため人間ドックの助成費を拡大する考えは。

副市長 定期的に見直しを行っており、明年度、公費助成の拡大を検討している。

荒れた宅地や農地の適正管理について

副議員 宅地や農地で雑草が放置されているところがあり、害虫や蛇が生息し、火事の心配があるなど苦情が寄せられますが、現状と対応策は。

副市長 本年度の苦情件数は38件であり、葦崎市環境美化条例に基づき今後の対応策も含めた文書による指導・勧告を行った。今後も所有者と市、地域が連携し対応する。

通学路等の安心・安全について

副議員 葦崎工業高校南側、西側の用水路への転落防止策は。

副市長 用水路の躯体調査を行った結果、劣化が進んでおりますので、最良の方策を講じていく。

市民サービスについて

副議員 市民交流センター（ニコリ）がオープンし、市民の文化活動や生涯学習、子育て支援の場など、市民が集う場として期待する声を聞きます。市民が集う場所に行政の窓口となる場所が無く、市民や高齢者の利便性からも市民課窓口などの行政窓口を設置し、市民サービスの向上を図る必要があると考える。市の考えは。

副市長 市民交流センターの行政窓口は、本市の規模、費用対効果などから設置しないことで特別委員会において説明し理解していただいたと認識している。オープンしたばかりなので、今のところ設置することは考えておりません。

副議員 市民交流センター



小林 伸吉 議員
【公明党】

その他質問

- ◆ 防災について

ターを利用する市民の利便性の面からも今後、6月から1年間の市民交流センターの利用状況を見ながら再検討を。

副課長 市民交流センターの利用客の状況、コンビニ交付、庁舎内の自動交付機などの利用状況を見ながら必要に応じて考える。

副議員 葦崎市立病院の相談室が入院・通院患者さんに大変好評である。相談室で介護認定などの申請手続きが出来ないかと。

副市長 病院内の介護認定の申請などの作成については、相談室に申請書を備え付け、病院の職員が助言、希望によってお預かりし、提出できるように配慮する。

新府城の発掘・観光について

副議員 新府城は、平城であり、西堀の東西の出構えなど大変に珍しいものであることを知り、この歴史資産を早期に発掘・観光資源としての活用が必要と考える。現在の発掘状況、また、観光資源としての公開の計画は。

副市長 平成14年からの一期的整備計画で本年、東出構えを調査し、史跡全体の2割弱が調査・整備できる。整備したところから見学会やウォーキングなどを開催し、随時公開している。

副議員 城内の県道がS字に曲がり見通しが悪く見学者が危険である。見学者の案内や横断歩道が必要と考えるが。

副課長 東掘りと丸山の間から鳥居を通るように市道に簡易誘導看板を設置し歩行者の安全を確保する。



矢崎 六彦 議員
[市清クラブ]

その他質問

- ◆再生可能のエネルギーへの期待について
- ◆本市の景気浮揚施策について
- ◆小中学校における暴力事件の多発とこの対策について
- ◆我が市所有の施設の管理委託と役員選任の件について

東日本大震災を経験した上での防災訓練について

固議員 東日本大震災を経験しての防災訓練が9月4日多くの市民の参加を得て実施されました。

今回の我が市の防災訓練、今までは少し変わった訓練でありましたが、当局の今後の防災訓練に対してのお考えをお聞かせします。

宍市長 防災訓練については、災害対策本部においては、実践的・効果的な訓練としてさまざまな状況設定のもと応急対策を講ずる実働訓練を行うこととしています。また、自主防災組織においては、地域の防災力を高めるため、幅広い層が連携・参加する防災訓練の普及を主眼にと考えております。

我が市の消防団の分団・部の再編見直しについて

固議員 以前にもこの問題を取り上げました。我が市は昭和29年合併し11分団あります。各部とも部員の確保には本当に苦労しております。

あの震災を経験した上で幹部らの心配事、捨て置くわけにはいきません。その後の協議状況と今後の予定、方向性についてお伺いしたい。

宍市長 組織の再編についての協議状況につきましては、現在、消防団活性化検討会において消防団活動の実態把握を行っております。

消防団の再編成は地域の消防・防災に関する重要な事項ですので、人口、地形、地域性等の観点から検証し、消防団及び関係機関等の意見を拝聴する中で検討を進めます。

入札執行について

固議員 本市では、各事業とも順次発注執行していますが、特に建設関連事業の減少からくる低入札の現状が見受けられます。この点をどうとらえているか伺います。

宍市長 本年度執行された入札において、落札価格が低いケースが何件も見受けられました。財政面では安価で発注できることは好ましい反面、いわゆるダンピング受注は工事の品質確保に支障を生じかねず、建設業の健全な発達を阻害する恐れがありますので、落札価格が安い工事について、契約内容に適合した履行により品質確保できるような施工管理・監督を徹底します。

上ノ山・穂坂工業団地に係わる諸事業について

固議員 県道と工業団地を結ぶアクセス道路については、県道進入口部分の用地買収が不調に終わり、迂回路の敷設を余儀なくされたため、当初予定の事業費より約2億1千万円が余分に投資されました。線形変更に伴い、約80mの完成道路を農地に戻す実態も明らかになりました。多額な税金の無駄使いに対して市長の説明責任を求めます。

2点目は、工業団地の造成工事で削岩機の振動や騒音により損害を被った近隣住民がおります。市は、どう対応されたのか伺います。

宍市長 この事業は平成22年度末に竣工する計画のもと用地交渉を進めてまいりましたが、誘致企



清水 正雄 議員
[市民クラブ]

その他質問

- ◆観音山公園の整備計画について

業との約束期限が迫っていることから線形変更したものです。機会あるごとに事業の経緯を市民の皆様にご説明申し上げ、ご理解を求めてきました。

次に、工事の振動により、浄化槽の水位が低下していると近隣住民より苦情があり、現地立会を実施した結果、ひび割れの原因によることが判明しましたので、施工業者により簡易的な補修工事を実施しました。その後も施工業者と協議を重ねておりますが、今だに解決に至っておりません。今後業者と共に協議を重ねて参ります。

投票所に身障者用車椅子を設置することについて

固議員 投票所に車椅子が備えられてないので投票することができない。車椅子を配備してもらいたいと、足の不自由な方

が要望しています。投票したいという尊い気持ちに添えるべきではないかと考えます。見解は。

固議員 選挙管理委員会書記長 高齢者や足の不自由な方の投票しやすい環境改善に向け、必要と思われる投票所には、配備して参ります。

天神通りにグリーンベルトを設置することについて

固議員 安全安心な通学路を確保する必要性からグリーンベルトの設置を求め、昨年12月の定例会で一般質問いたしました。その後、関係機関との協議がどこまで進んでいるのか、お伺いします。

宍市長 天神通りは幅員が狭いことから設置可能かどうかについて、所轄の葦崎警察署と協議した結果、設置可能であるとの回答がありました。現在、施工方法を検討しているところであり、地元関係者と協議を進め、明年度、実施します。

人気の荊崎市民交流センター「ニコリ」

テープカット



学習拠点 図書館学習室



荊崎駅前の便利な場所に



市内外から 子育て支援センター

虚礼廃止について

公職選挙法により禁止されておりますので、年末年始の虚礼廃止を申し合わせております。市民のみなさまのご理解をお願い申し上げます。

荊崎市議会議員一同

編集後記

十月の市議会議員選挙から十八人の議員構成により議会運営が始まり、二ヶ月が経過しました。その中で私たちは、今回より新たに「議会だより編集委員」となりました。その性質上、中々馴染みにくい内容で報告的要素が多いかとは存じますが、なるべく分かりやすい内容の掲載に努めてまいります。

市民の皆様におかれましても、今後ともよろしくご指導いただけますようお願い申し上げます。

うお願い申し上げます。
年末を控え何かと忙しい時期を迎えますが、健康にご留意して、輝かしい新年をお迎えください。

議会だより編集委員会
委員長 野口 紘明
副委員長 森本由美子
委員 岩下 良一
西野 賢一
秋山 泉
清水 一
清水 正雄

- 11月30日 開会
諸報告
市長所信表明
- 12月12日 一般質問
- 13日 一般質問
- 14日 議案審議
財務委員会
常任委員会
- 16日 議案審議
委員長報告
閉会

12月定例会日程

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。
※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。
※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。